

ト★ 東星学園だより

TOSEI

東京都清瀬市梅園 3-14-47 TEL 042-493-3201 <http://www.tosei.ed.jp>

□ 西武池袋線秋津駅 南口 徒歩 10分 □ JR 武蔵野線新秋津駅 徒歩 15分

vol. 13

平和を築くために与えられたあなたへ

校長 大矢 正 則

今年度最初の学園だよりとなります。この4月に、東星学園には、幼稚園10名、小学校20名、中学校32名、高等学校35名の新入学生（幼稚園は新入園児）が仲間として加わりました。保護者の皆様、ようこそ、東星学園にお子様を送り出してくださいました。合計97名の新しい園児・児童・生徒が、東星学園に与えられたことに感謝しております。

いま、与えられましたと書きましたが、字引によれば、『与』という漢字には、『くみする』、『力を合わせる』、『広く一緒に物事をするために仲間となる』という意味があります。私たちは保護者の皆様から、お子様を送り出していただいたと考えておりますし、同時に、神様から与えていただいたと考えています。私たち教職員が一方的に子どもたちを教育するのではなく、私たちは神様から与えられた子どもたちと与し、子どもたちと、そして保護者の皆様と、力を合わせ、平常の授業・保育や行事等を通して一緒に物事を成し遂げ、平和を作り出す仲間となってまいりたいと考えております。

私たちは一人ひとりが、別々の日に別々の場所で生まれてきました。それは、子どもたちも保護者の皆様も教職員も同じです。自分の力だけで生まれてきた人は誰もいません。生まれ持ってきたものもまた一人ひとり違って、全員がユニークです。ユニークとは日本語ではときどき『普通でない』、『変わっている』という、あまりいい意味で使われないこともあります。しかし本来、人はみなユニークな存在なのです。神様は一人ひとりの人間を、唯一で、類のない、無比の、すばらしい、全員異なった『普通でない』存在としてお造りになったのです。このことは、なんともおめでたいことです。私たちはしばしば、『入学おめでとう』とか、『誕生日おめでとう』などと口にしますが、実は人間は一人の例外なく、毎日『おめでとう』と言われるのに相応しい存在なのです。

もちろん、おめでたいと思えないことや、つらい日々が続くことはあります。特にいまの日本では、とてもとても『おめでとう』と毎日と言えないのが現実です。各省庁が発表する統計データの多くに不備があることが発覚し、様々な国勢が不透明となったことは、国民

に多大な不安と政治や行政への不信を助長させました。少子高齢化社会が進む中、未だに高度成長期モデルを踏襲しようとする景気回復戦略は奏功するはずもなく、国内の実質賃金の長年にわたる減少は、私たちに将来に対する不安を抱かせます。様々な原因による交通事故や、世界に目を遣れば、航空機事故で尊い命が瞬にして絶たれています。そして、今なお、紛争や内戦によって、兵士だけではなく、民間人や子どもの命が毎日奪われています。今日は、世界大戦時と比べても劣らないほど、希望を持つことが難しい時代になったと言えるのかもしれない。

しかし、神様はきっと何もかもご存知です。私たち人間がつらいときは神様も一緒に痛みを共にしてください。それは聖書のいたる所に書かれています。たとえば、イザヤ書43章2節には、「水の中を通るときも、わたしはあなたと共にいる。大河の中を通っても、あなたは押し流されない。火の中を歩いても、焼かれず、炎はあなたに燃えつかない」と書かれています。また、エレミヤ書1章5節には、「わたしはあなたを母の胎内に造る前から、あなたを知っていた」とあります。火の中、水の底においても神様は私たちと共にいてくださり守ってください。それは人間の目にはわからないやり方かもしれないけれど、そして神様は、私たちのことを、母親の胎内にかたちづくられる前から知っておられた。もちろん、いまの私たちのことも知っておられる。だからこそ、私たちは世界平和を祈らずにはいられません。そして、一人ひとりが平和をつくり出す担い手となってゆきたいものです。世界平和は一足飛びに築けるものではありませんが、誰もがそこに与することはできます。それにはまず、一人ひとりが自分の周囲に平和をもたらす者となることから始まります。

何もかもご存知の神様が、私たち一人ひとりを、ここ東星学園に集められました。それは、この場所で一人ひとりが平和をつくり出す人となるようにという神様の願いがあったからこそのことであると言えます。

「あなたが入学する学校、そこがあなたにとって一番の学校です」。それは、お子様が平和をつくり出す最初の場所として、ご家庭とともに、神様が、ここ、東星学園を選ばれたということなのです。

中学校・高等学校

「人には時がある」

教頭 長谷部 準子

『何事にも時があり

天の下の出来事にはすべて定められた時がある。

生まれる時、死ぬ時

植える時、植えたものを抜く時…』

旧約聖書 コヘレトの言葉 3章より

私たちはつい人と比較して、「あの人に比べてなんて自分は駄目な人間だ」と思いがちではないでしょうか。私自身自分の人生を振り返ってみたとき、人と比べて動くことのできない自分を情けなく思っていました。大学生の時には、マザーテレサのもとにボランティアに出かけていった友人に対してでした。彼女は、ある人に声を掛けられ出かけていったのですが、その人は、私には誘いの声を掛けてきませんでした。それを知ったとき、「私はそのような動きができない人間だと思われるのだ」と思い、そんな自分に嫌気がさしました。「なんで、どうして…」声にならない葛藤をしているうちに、「私には私の場所があり、友には友の場所がある」という思いに達することができました。東日本大震災の際にも、多くの人々がボランティア活動を始めていく中で、動き出せない自分がいました。しかし、阪神淡路大震災の時には、何も出来なかった私が、1年過ぎてから少しずつ動くことができるようになっていきました。この経験から、人にはそれぞれに「時」があるのだと実感しています。

人との出会いにも「時」があります。ここ東星で出会った仲間は、たまたま同じ時代をここ東星で共に過ごします。出会いは偶然でも、共に過ごすことによって、かけ

がえのない友になっていきます。自分だけでは出来ないことでも出会いによって多くの事柄に挑戦し、達成することが出来るようになります。人との関わりの中で得られるものが多くあります。どうか互いに認め合う関係を築きながら、人との関わりを大事にして欲しいと思います。

こうして「時」ということを考えることは、「今を大切に生きる」ことに繋がります。

何かを始めるときに、「ともかく行動する人」、「じっくり考えてから行動する人」、「周りに合わせることに必死になってしまう人」等、人様々です。事柄によって、どれが正解ということはないでしょう。私たち一人ひとりにはそれぞれの「時（タイミング）」があります。その「時」がいつなのかを私たちは知りません。後になって「あの時が…」と気づくことの方が多いと思います。気づきがあるのも、その時を大事に過ごせたのかどうか、つまり「今」を大切に過ごしているかどうかということではないでしょうか。

今年の春に被災地を訪れた時、津波によって家の土台の一部だけとなってしまった所を目にしました。通りかかる人たちは、その空間一面に咲いているタンポポに目を向けていました。私はそのタンポポを見つめながら、この地域での3月11日以前の生活に思いを馳せ、改めて「当たり前」であることの有難さに気づかされました。毎日の何気ない生活、単調に思えるくり返しの事柄、例えば、毎日の掃除の時間…、そんな単調で変化のない毎日を過ごすことが当たり前すぎて、普段は特別に考えることがありません。しかし、当たり前前に思っていたことが当たり前でなくなってしまうことが起こるときがあります。当たり前前の生活を過ごすことが、今を大切に生きることです。気負うことなく、日々の生活を過ごしながら、それぞれの「時」をお互いに大事に過ごしていきたいものです。

入学式

入学式企画委員長 高等部3年 S.H

花にふりそそぐ光まぶしい季節を迎え、第55回入学式が行われました。新入生の緊張した様子や新しい生活に期待を抱いている姿はとても輝いていました。

中高生の入学式は高校3年生の企画委員を中心に企画、運営していきます。今年度は「彩（いろどり）」というテーマのもと、全体合唱、コサージュ選び、新入生への手紙などを決めました。その中で最も時間をかけたのはテーマの理由でした。企画委員のメンバーでそれぞれ新入生への思いが沢山あり、なかなか言葉がまとまらず、うまく進まないこともありましたが、検討を重ね、自分たちが納得するものを決めることができました。そ

して室内楽部や放送委員、草月流講座受講者など多くの人の協力を得て、当日を迎えることができました。この入学式を通して私も成長できたと感じています。

「彩」には色をつけるという意味があります。新入生の皆さんは学園生活を送る中で様々な経験を積み、成長することで多くの色と出会うことができます。自分の色を見失うことなく深め、また新しい色を付け加えて鮮やかに彩って欲しいです。皆さんのこれからの学園生活で一人ひとりの個性がより輝くことをとても楽しみにしています。



ヨゼフ祭 舞台発表

英語劇を終えて

英語劇企画委員長 中等部2年 N.T

僕たち中学2年生はヨゼフ祭の舞台発表で英語劇“The Nutcracker (くるみ割り人形)”を演じました。学年ひとりひとりが独創性に富んでおり、様々なアイデアを各係で出し合ってひとつのものを作り上げました。

今回のくるみ割り人形には色々な工夫が凝らされています。例えば、様々なくるみ割り人形の映像や作品から、それぞれの面白いシーンや登場人物などを基本的なストーリーに取り入れてみたり、一番初めのくる

み割り人形の登場シーンにひと工夫加えたり、ネズミたちが泳いでくるシーンはビート板を使ったりして、「僕たち、私たちだけのくるみ割り人形」に仕上げました。

本番までには、楽しいこと、大変だったこと、つらいこと様々なことがあり、本番の数日前には先生方に気の緩みを指摘されることもありました。しかし、その後はひとりひとりが緊張感を持ち、残り少ない練習に全力で取り組み、4月29日の本番を迎えることが出来ました。本番を終えた今はほっとした気持ちと寂しい気持ちが入り混じった複雑な気持ちですが、みんながひとつになって“The Nutcracker”を作り上げられたことをとても嬉しく思います。そして、この学年の団結力を再確認できてとても良かったです。

中等部3年群読「目撃者の眼」

国語科教諭

今年度は原爆投下直後の長崎で撮影された「焼き場に立つ少年」と撮影者であるジョーオダネル氏についての群読を行いました。

原爆・戦争を題材にした台本に誠実に対峙してくれたことを誇らしく思います。ある時、授業の中で「今回の発表では観客の皆さんに平和について考えてもらうことを求めています。それならまず私たち自身がどうやって平和を実現していくか考えなければ。」と台本内容、代表者の考えに対して意見を求めました。始めは私が指名する形で意見が示されるに留まっていたのですが、「その意見に対して私はこう思う。」と中盤から自

発的に意見が交わされました。意見を言う人も意見に耳を傾ける人も考えが芽生え、グッと伸び上がるようでした。その光景に感激するとともに身が引き締まりました。

練習では定番の「大きな声で」「ゆっくり」の指示だけでなく「ここはオダネル氏の伝えたいポイントだから力強く」「発音のトーンを最初から最後までキープして」など難易度の高い要求にも即応え、みるみる上達していきました。

本番は堂々とした発表で、メッセージを確かに伝えることができたと思います。発表は終わりましたが通過点に過ぎません。みんなが世界に放った平和への願い、祈りが大樹のように大きく育ち、力強い根を張りますように。



中等部2年 英語劇
「The Nutcracker」



中等部3年 群読
「目撃者の眼」

小学校 目標とする姿

教頭 河村 輝

東星学園小学校では、子どもたちに「目標とする姿」を示しています。次の13項目がその内容です。

1. めあてをもち、進んで学習します。よく考えて、くり返し練習し、いろいろな力を身につけます。
2. 元気に遊び、明るく楽しく生活します。
3. 自分の役割があることを知り、骨惜しみせず、喜んで働きます。
4. みんなが違ったよさを持っていることに気づき、お互いに助け合います。
5. 美しいことば、思いやりのあることばを使います。
6. どんな時でも明るい笑顔であいさつします。
7. 呼ばれたら、「はい」とはっきり返事をします。
8. 「ありがとう」「ごめんなさい」を相手に伝えるように、はっきり言います。
9. 人の話を静かに聞きます。
10. 身だしなみをととのえ、身のまわりをきれいにします。
11. みんなが気持ちよく過ごせるように、ていねいに掃除をします。

12. 黙想も、ことばの祈りも、手を合わせ、心をこめてお祈りします。
13. 家族の願いをいつも心にとめ、感謝の気持ちを持ちます。

この目標は月々の生活目標に使ったり、時々振り返りの視点に使ったりしています。また、教員の指導の重点としても使っていて、今年度は特に、5.9.10番目の項目を重点に全ての児童が達成できるように取り組むことになっています。

これらの目標を掲げているのは、「人としてあるべき姿だから」ということよりも、このような姿になるための力を身につけることによって、人間性が豊かになり、自分の使命に気づき、生き生きとした人生を歩むことができるようになって考えているからです。

この力の元となるものは、神さまからのおくりもの・賜物としてどんな人にも与えられています。したがって、これらの力は、新たに獲得するものではなく、すでに持っているものをさらに伸ばすことによって得られるものです。自分の努力によって、それを2倍3倍と伸ばすことが神さまのぞみであり、そのぞみにこたえようとする生き方ができるようにさせたいと願っています。

卒業式

前6年担任

3月15日（金）、好天に恵まれた中、卒業式が行われました。当日、全員が卒業式に参加できたことを心から嬉しく思います。

私は卒業生が5年生の時に東星学園小学校に着任したので、2年間子どもたちの成長を見ることができました。その2年間だけでも、子どもたちは著しい成長を見せてくれました。しかし、それは2年間の指導だけでなく、それまでの子どもたちの努力、他の教員の指導、そして保護者の皆様の支援の賜物であると感じています。最高の姿で送り出す機会を与えていただいたことに、感謝申し上げます。

卒業式をむかえるにあたって、子どもたちには「入学式の返事から卒業式の返事。学校生活は返事に始まり返事に終わる」と伝えました。練習でも返事の仕方

は注意して、時には練習後、時には朝の会で何度も返事の確認をしてきました。本番では緊張の中、それぞれ自分のできる限りの声を出すことができたと思います。

式前、式中は子どもたちに失敗がないか、返事がしっかりできるか、そして自身が呼名で嘸まないかなど心配があり、気持ちが落ち着きませんでした。式が終わり教室に帰ると、今までの思い出がよみがえり、「いよいよお別れか」という気持ちになりました。2年間大変だったことありますが、最後にはこの子たちの担任ができて幸せだったと思うことができました。私にとって最初の卒業生です。きっとこれからも忘れることはないでしょう。

昨年度の卒業生の多くが東星学園中学校に入学したので、これからも近くで成長を見続けることができます。まだ大きめの制服が少しずつなじんでいく姿を楽しみにしています。



入学式

1年担任

緊張した表情で迎えた入学式。受付係の6年生に「おはようございます。」「入学おめでとうございます。」と声をかけられ、照れくさそうな1年生です。靴箱や机、ロッカーの場所を6年生にやさしく教えてもらって、自分の席にお行儀よく座って、朝の会を迎えました。

入学式を行う体育館へは、6年生の合奏で入場します。迫力ある演奏に驚きながらも良い姿で入場できました。東星学園小学校の入学式は、全校児童が参列します。多くの方に見守られ、東星の仲間を迎えられます。式の中で1年生一人ひとりの名前を呼ばれ紹介されま



す。ひな壇に座った子どもたちは、元気よく返事をすることができました。

在校生のみんなは、1年生が入学するのを心待ちにしていました。「ようこそ 東星へ!」という気持ちを持って各学年準備を進めてきました。2年生は1年生の教室の飾り作り、3年生は1年生が首にかけていたペンダント作り、4年生は入学式の招待状作り、5年生は入学式の会場の飾り作り、6年生は入退場の合奏、3月に卒業した中学1年生は、看板作りを……。心のごもったあたたかい式でした。

5年生が作るトンネルをくぐって教室に戻った子どもたちの表情は緊張がほぐれ、笑顔が見られました。

小学校生活がスタートしました。東星学園小学校の仲間になった1年生の子どもたち。小学校の生活は、ドキドキ、ワクワクすることがたくさん待っています。いろいろなことを発見し、吸収して行ってほしいと思います。これからの子どもたちの成長が楽しみです。

2019 ヨゼフ祭 舞台発表

音楽科教諭

4月29日(土)、ヨゼフ祭初日、舞台発表が行われました。

まず6年生の器楽合奏からスタート。ここで、先日の卒業式や入学式で演奏した曲を披露します。以前はそれぞれの式で演奏したらそれで終わりでしたが、ヨゼフ祭で再演されるようになって15年ほど経ちました。

昨年の9月から長い間取り組んできただけに、卒業式や入学式での演奏を経てこのヨゼフ祭で演奏をし終えると、「終わった」という安堵感と、ある種の「さみしさ」も覚えるようです。

今回演奏した曲は「卒業写真」「上を向いて歩こう」「明日があるさ」「昴」の4曲でしたが、どの曲も堂に入った演奏でした。

プログラム2番は、5年生の合唱でした。

当初、ヨゼフ祭は6年生の器楽演奏のみでしたが、「5年生も合唱の発表をしよう」という事で、2008年度のヨゼフ祭からスタートしました。

この発表に向けての取り組みは4年生の2月頃から

で、毎年2曲披露することになっています。

今回は、関東地区カトリック小学校連合音楽会で歌われた「届けよう 風にのせて」と、「笑顔がかさなれば」の2曲を合唱しました。

大勢の人前での発表ただだけに、最初は緊張感いっぱいの様子でしたが、少しずつ肩の力が抜けた、リラックスした歌い方に落ち着いていきました。

このように5年生や6年生の音楽科の課題は、人前での発表という形を取った課題が数多く設定されています。

もちろん人前での発表のためには、本番の歌や演奏を真摯な姿で伝える、といった事も必要ですが、同時に人前での発表に向けて、時間をかけてじっくり取り組んでいくことそのものへの価値観も高めていきたいと思っています。



ヨゼフ祭 6年生器楽合奏



ヨゼフ祭 5年生合唱

とうせいキッズ

とうせいキッズ

とうせいキッズ職員

小学校にいる間に異年齢の交流をするのは簡単な様で案外出来ないものです。理由は単純に同学年の友達と遊びたいのが優先されるからなのですが。そして兄弟が身内にいない限り体と感覚で覚えていく異年齢の交流を上手にすることは同い年の友達関係では案外難しいものです。

今年の平成最後の小学校の卒業を迎えたお子さんには、なんとすすくクラブ立ち上げ時の第1期の1年生からいたお子さんたちで小学生の6年間をとうせい

キッズにいてくれた人もいます。凄く嬉しい事です！

そんな卒業していったお子さんは6年間の間に高学年のお兄さんお姉さんに可愛がってもらい喜びと楽しさを感じ、

わがまま言って困らせる様な事もして寂しさを感じ、気がつくと今度は自分がする側になってたくさんの経験をして、去り際には大きくなったらすすくクラブで働きたいとまで言ってくれました。感慨深い言葉に心が動かされます。小学校だけでは時には不足しがちな子ども同士の成長の場をとうせいキッズのすすくクラブやぐんぐんクラブで味わってみませんか？



幼稚園

どうぞよろしくお願ひいたします。

園長 田中 宏

今年1月から東星学園幼稚園の仲間に入れさせていただきました。

3年前迄38年間、東星学園小学校で楽しく奉職させていただいております。

幼稚園初出勤の朝、元気に登校してくる小学校の子ども達や中学、高校の生徒が、驚いた顔で「あれれ、先生、どうして幼稚園にいるの？びっくりした〜！」その後、幼稚園の可愛い子ども達がおうちの方と一緒に登園してきました。

最初は（誰、このおじさん？）と、子ども達は不思議そうな顔をしていましたが、すぐに仲良くしてくれたので、嬉しくなってきました。そしてあらためて思いました。（家に帰ってきたな。）そう、東星学園は、子どものころから私の「家」なのです。

小学3年生の時からベトレーム学園でお世話になり、東星学園小学校に通学することになりました。

東星学園に転校し、しっかりと勉強したらよかったのですが、この環境が私にぴったりと合ったようで学校中

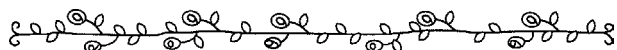
を飛び回り、悪戯が大好きな、なんとも学園の保母さんや学校の先生を困らせていたわんぱく坊主だったようです。後に校長になられた恩師石崎勢津先生が以前、「今までの私の教員生活の中で、五本の指に入るいたずら坊主だった。」と、笑顔で話されていた事が思い出されます。（今から40年ほど前、私が大学を卒業し教員免許を取得した時、「東星に戻ってきなさい。」と言われた先生です。）

私は、子どもの頃にこの場所で、素晴らしい体験をたくさんさせていただきました。そして神様からのたくさんの「恵み」もいただきました。親元を離れて生活するのは、寂しさ、悲しさ、辛いこともありましたが、それ以上の「愛」をいただいていたことを、今になって心から感じます。たくさんの人が温かい目を子ども達に注いでくださっていたことを。安心できる場所があることは、子どもにはとても大切で必要です。

そして今、私は新たに「私の家」であるここ、東星学園にいます。学園で、一番小さなキラキラ光っている元気な子ども達とここにいます。この小さな子ども達を何よりも大切にして毎日を素敵な笑顔で過ごされている先生方と共にいます。神様と皆さんに感謝をし、未熟で微力な私ですが、できるかぎりのお手伝いができたらと思います。

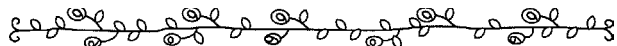
少し？歳をとった新人ですが、どうぞよろしくお願ひいたします。





みんな仲良し!

幼稚園職員



2019年度新学期がスタートしました。最近の保育の様子をご紹介します。

進級し、新しいバッチをつけてもらった年中星の組、年長天使の組。お兄さんお姉さんになった喜びでいっぱいでした。そこへ、元気いっぱいの年少花の組が入園し、幼稚園生活が始まりました。

生活しているお部屋は、身支度をするスペースと遊びのスペースに分け、自分がしたいことを見つけて取り組めるようになっています。今子ども達に人気なのは木製ブロックです。子ども達は積み上げたりドミノにしたりと思いつきの遊び方で楽しんでいます。遊びに年齢は関係ありません。ケンカをしたり、言い合いになったりすることもあります。その中で人間関係を築いていくと欲しいと思います。

さて、幼稚園の活動で『畑』があります。毎年夏・冬野菜を育てて持ち帰ったり幼稚園で食べたりしています。現在はナス・白ナス・きゅうり・トマト・いんげん等たくさんの種類の夏野菜を育てています。また、今年

は初めてブルーベリーを育てることになりました。うまくいけば9月くらいに食べられる予定です。収穫を楽しみに毎日みなでお世話をしていきます。自然のお恵みに感謝する気持ちが育つような活動を大切にしていきたいと思います。



自分より大きなタワー!



みんなで畑の草むしり

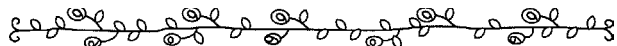


大きく育ててね!
たくさん収穫が
できますように



預かり保育「すくすくジュニア」

幼稚園職員



すくすくジュニアに子ども達は「ただいま」と元気と言って帰って来ます。

子ども達は身支度を整えたらすぐ遊びのはじまりです。それぞれが自分の好きな事を見つけて遊びます。ぬり絵、つみ木、ブロック、おままごと、工作などです。空き箱を使って今日は何をつくらうかなあとワクワクしています。夢中になって遊んだ後は子ども達が大好きなおやつ時間です。「今日のおやつはなあに?」「お・た・の・し・み」「おかわり!!」の声も聞こえます。おやつ時間が終わると外遊びです。みんな外遊びが大好きです。暗くなるまで思いっきり遊びます。ボール遊び・鬼ごっこ・どろんこ遊び。夏は虫とりも楽しみです。

長期休みの時にはちょっぴり特別なこともします。小学校のほうへお散歩に行きグラウンドで遊んだり林の中で木の実や虫をさがしたり桜の時期にはお花見もします。外でお弁当やおやつを食べる事もあります。夏休み

はプール遊びが楽しみです。よほどの悪天候でないかぎり毎日プール遊びが出来るので子ども達は大喜びです。「2回入りたーい!!」という子どももいるくらいです。そんな時はお昼寝の後に入る事もあります。

すくすくジュニアではお家の方のおむかえを待つ子ども達がリラックスをして安心して過ごすことができる様に心掛けています。



お友達と一緒に遊ぶと楽しいね!



みんな大好き
おやつタイム!

広 報

本学園の広報活動についてお知らせいたします。
参加をご希望の方は、本校 HP より事前にご予約
をお願いいたします。

【幼稚園】

0～3歳の親子のコンサート
山の音楽舎より「ふわふわ山のコンサート」
日 程：6月29日(土) 10:00～11:00
参加費：無料

入園説明会

日 程：7月6日(土)・9月7日(土)・10月2日(水)
10：00～11：00

【小学校】

第3回学校説明会(入試説明会)
日 程：7月13日(土) 10：00～11：30
第4回学校説明会
日 程：9月7日(土) 10：00～11：30

【中学校・高等学校】

イブニング学校説明会
日 程：6月19日(水)、7月18日(木)、
7月26日(金) 18：45～19：30
内 容：教育理念、教育内容、進路について
※3回とも同内容となります。

一人でも多くの仲間をここ東星に迎えることができ
ますように、今後とも皆さまのご理解とご協力をお願
い致します。

学園行事予定 (2019年6月～9月)

	中学校・高等学校	小 学 校	幼 稚 園
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・英語検定(1回) ・中間テスト ・高1・2学力テスト ・スポーツ大会 ・第1回父母会小さな集い ・高校 GTEC ・漢字検定(1回) ・中学・高校イブニング学校説明会① ・学習参観/学級懇談会 ・中等部学習旅行 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回学校説明会・公開授業 ・ひこうき大会 ・鑑賞会 ・3年生懇談会 	<ul style="list-style-type: none"> ・うどんどうかい ・防災訓練 ・同窓会 ・プール開き ・観劇会
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱祭 ・東星小4年生対象 中学校オープンキャンパス ・第2回父母会小さな集い ・中学・高校イブニング学校説明会②③ ・数学検定(1回) ・終業日 ・夏期講習 ・部活動体験会 ・被災地ボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> ・4・1・6・5・2年生懇談会 ・第3回学校説明会(入試説明会) ・終業日 ・修学旅行(6年生) ・夕涼み会 	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談会 ・終業式
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・夏合宿 ・漢字検定(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏期学校(4・5年生) ・夏イベント 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子清掃 ・夏期保育
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業日 ・防災避難訓練 ・期末テスト ・第3回父母会小さな集い ・学校説明会 ・芸術鑑賞会 ・前期終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業日 ・防災避難訓練 ・第4回学校説明会 ・幼稚園との交流会 ・前期終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・防災避難訓練 ・引き取り訓練 ・1年生交流会(年長) ・老人ホーム交流会 ・理事長様のお祝い会

園児・児童・生徒の活動報告

第38回 わんぱく相撲清瀬場所

5年女子の部
関脇 5年けやき組 M.N

編集後記

2019年度が始まりました。新しい生活はいかがですか。疲れが出てくる頃かもしれませんね。美味しい物、
楽しみなことを補給して元気に過ごしたいものです。

今年度も年3回学園だよりを発行し、学園の様子や園児、児童、生徒の様子をお届けいたします。

皆様どうぞよろしくお願いたします。

(中高)